外部資金獲得状況

令和8年7月1日公表
滋賀文教短期大学

＜2026年度＞

助成者	資金名	研究種目	区分	期間	助成金額	研究課題	本学対象者			備考
							所属	職位	氏名	
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｃ	新規	2026年度～2029年度	650,000	日中戦争期華北の文学者・文化人ネットワークと日本語文学に関する調査・研究	国文学科	教授	神谷　昌史	研究分担者分配金 （代表者：戸塚麻子）

＜2025年度＞

助成者	資金名	研究種目	区分	期間	助成金額	研究課題	本学対象者			備考
							所属	職位	氏名	
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	継続	2023年度～2026年度	1,638,000	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	国文学科	准教授	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：阿児　雄之）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	継続	2024年度～2027年度	650,000	校長含む著作権知識や経験値等の実態分析に基づく個別最適な著作権研修の構築	国文学科	准教授	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：芳賀　高洋）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｃ	新規	2025年度～2027年度	130,000	学校図書館を中心とした雑誌利活用教育（MIE）の実証的研究：日米英を対象として	国文学科	准教授	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：植村　八潮）

＜2024年度＞

助成者	資金名	研究種目	区分	期間	助成金額	研究課題	本学対象者			備考
							所属	職位	氏名	
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｃ	継続	2021年度～2024年度	520,000	日中戦争期華北の未公開資料の調査・公開と総合的研究	国文学科	教授	神谷　昌史	研究分担者分配金 （代表者：戸塚麻子）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	継続	2023年度～2026年度	663,000	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	国文学科	講師	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：阿児　雄之）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	新規	2024年度～2027年度	390,000	校長含む著作権知識や経験値等の実態分析に基づく個別最適な著作権研修の構築	国文学科	講師	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：芳賀　高洋）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	若手研究	継続	2022年度～2024年度	390,000	文学と商工業の結索点としての「実業小説」―『実業少年』と幸田露伴に注目して―	国文学科	講師	吉田　大輔	

＜2023年度＞

助成者	資金名	研究種目	区分	期間	助成金額	研究課題	本学対象者			備考
							所属	職位	氏名	
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｃ	継続	2021年度～2024年度	650,000	日中戦争期華北の未公開資料の調査・公開と総合的研究	国文学科	教授	神谷　昌史	研究分担者分配金 （代表者：戸塚麻子）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	新規	2023年度～2026年度	130,000	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	国文学科	講師	有山　裕美子	研究分担者分配金 （代表者：阿児　雄之）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	若手研究	継続	2022年度～2024年度	650,000	文学と商工業の結索点としての「実業小説」―『実業少年』と幸田露伴に注目して―	国文学科	講師	吉田　大輔	

＜2022年度＞

助成者	資金名	研究種目	区分	期間	助成金額	研究課題	本学対象者			備考
							所属	職位	氏名	
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｃ	継続	2021年度～2024年度	650,000	日中戦争期華北の未公開資料の調査・公開と総合的研究	国文学科	教授	神谷　昌史	研究分担者分配金 （代表者：戸塚麻子）
独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費補助金	基盤研究Ｂ	継続	2019年度～2023年度	39,000	公共図書館の多様な活動を評価する総合的指標の開発	国文学科	助教	福井　雄大	研究分担者分配金 （代表者：原田隆史）

＜備考１＞助成金額は、当該年度の額を記載しています。
＜備考２＞本学対象者の所属や職位については、各年度時点の情報です。
＜備考３＞本学対象者は、研究分担者および複数名での共同研究者の場合も含みます。その場合は、備考欄にその旨を記載しています。